

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成21年度第3回定例会会議記録
開催日時	平成21年6月24日（水曜日） 18時30分から20時33分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長 森忠 副会長 渡辺文子 委員 中嶋美沙子、西嶋剛昭、定盛秀俊、千葉桂子、柴山隼、大島眞之、福島憲子、加藤真理、萩原建次郎、上田幸夫 職員 相原館長、山本主幹、近藤係長、小笠原分館長、玉木分館長、小林分館長
欠席者	古賀節子、須磨田純子
議題	(1) 第2回定例会の記録について (2) 報告事項 1 行政報告 2 事業計画書・報告書について 3 公民館だより編集室報告 4 都公連研究大会企画委員会報告 5 都公連委員部会運営委員会報告 (3) 協議事項 1 公運審委員の役割について (4) 事務連絡及び情報交換 (5) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1 やぎさわ探検隊2009（柳沢） 2 女性問題講座「いのちとくらしを見つめる時間」（柳沢） 3 国際理解のための講座1 世界の動向と国際協力のあり方を考える（田無） 4 国際理解のための講座2 メキシコ・スペイン文化とスペイン語基礎学習（田無） 5 シニア講座「余暇時間の有効講座」（芝久保） 6 子育て中の女性のための講座 これからの時代をしなやかに生きる翼をもとう（ひばり） 7 保谷駅前公民館開館1周年記念 ジョイントコンサート（駅前） 8 地方財政分析入門講座（駅前） (2) 事業報告書 1 田無公民館まつり「歌声コーナー」（田無） 2 環境講座 廃油キャンドルを作ろう（田無） 3 からだにやさしいハーブ講座（芝久保） 4 谷戸まつりにおける公民館主催事業
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 第2回定例会の記録について 副会長 記録の修正についての申し出等を確認する。 職員 特にない。 副会長 配付の記録のとおりとする。</p> <p>(2) 報告事項 1 行政報告 副会長 報告を受ける。</p>	

館長 本日、市教委が開催され新しい教育長が選任された。席上配付の資料のとおりだ。

はなバスルートについて、都市計画課から連絡があり、地域交通会議が開催される予定とのことなので、芝久保公民館の利用者からの声やルート変更の要望を伝えた。

公民館運営審議会に対する要望書が市長宛に出された。以前に会議を傍聴した人だと思われるが、昨今の財政状況を考えると公民館職員の出席者は館長を含めて3人程度でよいのではないかと、残業代を税金で負担していることを考えてほしい、という内容であった。匿名であり、回答を求められていなかったが、私としては今後も各分館から1人の参加は命じていきたいと考えている。公民館の現状を考えると、出席した分館長と委員とのつながりは重要であり、適切な参加と考えている。

委員 はなバスルートについては、以前から要望書を利用者連絡会でも提出しているが、担当部署はどの程度重要に感じているのか。

館長 市民要望をどの程度重用するのは私には答えられないので、直接担当の部署に確認してほしい。

副会長 質疑を終結する。

2 事業計画書・報告書について

副会長 質問・意見を受ける。

委員 やぎさわ探検隊の対象者が東伏見小の親子となっているが理由は。

職員 実際の応募に当たっては、公民館だより等で行うのでどこの小学校の児童も受け入れるが、探検をするのは東伏見小の学区を対象にしているためだ。事業の性格上、できれば近所の親子に多く参加してほしい。

委員 探検隊は面白い企画だと思う。この事業が終わったら、次の機会として学校で成果を生かしてもらおう手立てを考えても良いかと思う。そうすることで学校との接点も生まれる。

職員 企画者としては、そこまで考えていなかったが、学校側は地域での活動を発表する場などは考えられるのか。

委員 現実の問題として、時数の確保が難しい現状で、突然予定を入れ込む余地は少ないのではないかと。

委員 東伏見小には事前に相談等はしていないのか。副校長や学年主任に事前に申し入れておけば、何かの形で取り組んでもらうチャンスはあるかもしれない。事前の話し合いだと思う。

委員 駅前公のコンサートは、柳沢公のロビーコンサートと同等のものと思ってよいのか。今後、利用者どおしの結びつきの会となる要素はあるのか。

職員 オープン記念のときのコンサートの続きと考えてほしい。指摘された要素を含む必要があると考えている。駅前公は、立地からして地域性が薄いと思われるので、地域起こしには何か仕掛けが必要だ。今回の企画を行う実行委員と職員とがしっかりと話し合いを持ってゆくことが課題である。大いに期待してほしい。

委員 いろいろな館でたくさんの事業を行っている。とても全部に行けるものではない。好評であった事業に関しては他の館で取り入れることはできないのか。

例えば、駅前公の財政講座は、当初の事業計画にある芝久保公のものと同様か。

職員 芝久保公の財政講座は、利用者懇談会で2年連続意見が出たために事業計画に記載したもののだが、入門編を準備中だ。駅前公は伝統もあり、かなり完成度が高い。また、地域性も異なるので、駅前公の講師とは別の方を頼みたいと思っている。同じ財政問題に取り組むとしても、他館のリメイク版にならないよう考えている。我が町の暮らしを考えることが視点となる。

委員 財政講座に限らず、職員は横の連絡を密にしてほしい。

副会長 質疑を終結する。

3 公民館だより編集室報告

副会長 報告を求める。

委員 6月号の反省は、1面の梅のレシピは好評であったこと、サークル訪問のサークルの固有名詞

の読み仮名がなかったために読み違いが発生したことがあった。7月号は、日食に関する記事と柳沢公のシャンソン、ラ・メール、明日が納品になる。8月号は、戦争体験の記事を載せることが恒例である。今回は、当時の婦人会活動から見た市民生活について垣間見たい。サークル訪問は駅前公の尺八サークルだ。9月号は、合併後100号記念になる。

現在編集室には2人の運審委員と2人の市民委員が在籍している。市民委員に対しても名札を作ってほしいという要望が上がり、職員に申し入れた。

市民委員から取材用に撮影した写真を使ってほしい、撮影の目的をはっきりしてほしいという意見が上がった。また、現在は紙面の文書はほとんどが職員の手で記載されていると思うが、今後は市民も含めて全員が書ける体制を整えていきたい。

今回サークル訪問で取材をした尺八のサークルは、住吉公の時代に市民要望があって講座を開設し、そこに集まった人が立ち上げたものだと聞く。取材では、駅前の立地だから集まりやすいという声が出ていたが、逆に駅前にはいけないという人もいることを痛切に感じた。

本日は、公運審コラムの順番を決めてほしい。

委員 そもそもなぜコラムがあるのか。

委員 公運審の活動を知らせるためにスタートしたと聞いている。

委員 今回から運審のメンバーも刷新したので、コラムを続けるかどうかも含めて編集会議で検討してほしい。

委員 公運審として、この欄を続けるのかどうかを決めることが大切なのではないか。

委員 どちらの組織が先行して決めるのかという議論も大切であろうが、そもそもどういう経緯でこのコーナーがスタートを切ったのか。4年ほど前から委員として書くコーナーを設けたと聞いている。

委員 一昨年までのコラムは、主催講座に参加して取材記者として記載する欄であった。私は年金講座を取材して書いた覚えがある。ところが、今回のものは、委員としてどういう思いで公運審と関わっているか、という趣旨で書くために、社会教育の経験が現れやすい内容になっている。

会長 確か、前期の最終回までに継続については決定していた。その後変更についての意見は特になかったのだから、後は単純に順番を決めてはどうなのかと思う。このコーナーは、続けるということを一に考えてほしいと思う。企画の見直しを行うということはあったとしても、コーナーの存続の成否を問うという要素はないと思う。

委員 編集室としても、継続ということで決まっていると認識しているので、順番を決めてほしいということであった。

会長 それでは、順番を決めてほしいと思う。

委員 1回目は自己紹介なども含めて自由に書けたが、委員の自由な意見を2度にわたって書き続けてよいものか疑問に感じていた。

会長 公運審も第5期がスタートしたばかりだ。再任の方もいるが、今のところは一巡するまでは現状の考えでスタートし、必要に応じて考え直したりしてはどうなのか。

職員 前期のときにも名簿順で行くということに決めていた。今回も同じ考えでいけないかと、編集室の職員は言っているがどうか。

委員 7月号加藤委員、8月号の上田委員までは順番で決めていたので、9月号以降もその続きの名簿順ということにしたい。そのことも含めて、次回の編集室であり方等も話題提供する。

副会長 質疑を終結する。

4 都公連研究大会企画委員会報告

副会長 報告を求める。

委員 私は初めての参加になるが、企画委員会は既に3回目ということになっている。12月13日の大会のための集まりで、小金井市民が多く参加している。

大会テーマは「地域と歩む公民館PART2」で、昨年と同タイトルになる。全体会をなくして、課題別集会のみになると確認された。会場市の都合もあるようだ。課題別集会は5つに別れるということだ。

テーマに従う大会趣旨文について協議したが、多くの意見が交わされたため結論が出ず、継続審議となった。

課題別のテーマだが、第1課題別「公民館の可能性を探る」第2課題別「魅力ある講座、誰もが参加でき、参加したくなる講座」第3課題別「地域、仲間づくりで元気な街を」第4課題別「公民館が行う子育て支援」第5課題別「インターネットの活用と広域連携」である。私は、第5課題別の担当になった。

副会長 特に意見がなければ、質疑を終結する。

5 都公連委員部会運営委員会報告

副会長 報告を求める。

委員 本日、稲城市において開催された。12市中9市が参加した。

本日は、7月18日の委員部会全体会・研修会についての審議を行った。研修会の講師は、福生市の公民館長が務めてくれ、問題提起の後グループ討議を行う予定だ。

情報交換として、東久留米市の公民館が来年度から指定管理者制度に移行するという報告があった。

委員 東久留米市の指定管理者の委託先についての報告はあったか。

委員 その点までの報告はなかったと思う。

副会長 質疑を終結する。

19時30分休憩

19時38分再開

(3) 協議事項

1 公運審委員の役割について

会長 公民館運営審議会委員の役割について、学識経験委員にレクチャーを受ける機会を作っていきたい。今月と来月は上田委員に、8月と9月は萩原委員にお願いしている。レジュメに従い説明を受け、質疑応答を行う予定だ。

上田委員のレクチャー

会長 来月も引き続き、上田委員のレクチャーを受けたい。

(4) 事務連絡及び情報交換

特になし

(5) 次回の日程について

7月22日(水曜日) 18時30分 於:田無公民館 第二学習室

会長 他に意見がなければ、閉会とする。